別表第４ 施工管理記録様式（参考様式）

（出来形管理関係）

（様式１）	工事施工管理表（表紙）	
（様式２）	測定結果総括表	
（様式３）	測定結果一覧表	
（様式４）	出来形管理図表	
（様式５）	出来形管理図（工程能力図）	
（様式６）	度数表	
（様式７）	鋼管溶接測定結果一覧表	
（様式８）	鋼管溶接、塗覆装点検表	
（様式９）	管水路ジョイント間隔測定結果一覧表	
（様式10）	埋設とう性管たわみ量管理表	
（様式11）	鉄筋組立検査結果一覧表	
（様式12）	杭打ち成績表	

（コンクリート関係））

（様式13）	セメントの密度試験	(JIS R 5201)
（様式14）	セメントの粉末度試験（比表面積試験）	(JIS R 5201)
（様式15）	セメントの粉末度試験（網ふるい試験）	(JIS R 5201)
（様式16）	セメントの凝結試験	(JIS R 5201)
（様式17）	セメントの安定性試験	(JIS R 5201)
（様式18）	セメントの強さ試験	(JIS R 5201)
（様式19）	細骨材の密度および吸水率試験	(JIS A 1109)
（様式20）	粗骨材の密度および吸水率試験	(JIS A 1110)
（様式21）	細骨材の表面水率試験	(JIS A 1111)
（様式22）	骨材のふるい分け試験（細骨材）	(JIS A 1102)
（様式23）	骨材のふるい分け試験（粗骨材）	(JIS A 1102)
（様式24）	骨材試験成績一覧表	
（様式25）	コンクリートのスランプ試験およびフレッシュコンクリートの	(JIS A 1101)
	空気量の圧力による試験(空気室圧力方法)	(JIS A 1128)
（様式26）	コンクリートの圧縮強度試験	(JIS A 1108)
（様式27）	コンクリートの曲げ強度試験	(JIS A 1106)
（様式28）	フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験	(JIS A 5308)
		(JIS A 1144)
（様式29）	コンクリート中の塩分測定表	
（様式30）	骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）	(JIS A 5308)
		(JIS A 1145)
（様式31）	骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）	(JIS A 5308)
		(JIS A 1146)
（様式32）	鉄筋の曲げ試験	(JIS G 3112)
		(JIS Z 2248)
（様式33）	鉄筋の引張試験	(JIS G 3112)
		(JIS Z 2241)

（土質関係）

（様式34）	土の含水比試験	（JIS A 1203） （JGS 0121）
（様式35）	砂置換法による土の密度試験（較正）	（JIS A 1214）
（様式36）	砂置換法による土の密度試験（測定）	（JIS A 1214）
（様式37）	土の収縮定数試験	（JIS A 1209） （JGS 0145）
（様式38）	ＣＢＲ試験（初期状態、吸水膨張試験）	（JIS A 1211） （JGS 0721）
（様式39）	ＣＢＲ試験（貫入試験）	（JIS A 1211） （JGS 0721）
（様式40）	ＣＢＲ試験（室内試験結果）	（JIS A 1211） （JGS 0721）
（様式41）	修正ＣＢＲ試験	
（様式42）	現場ＣＢＲ試験	（JIS A 1222）
（様式43）	道路の平板載荷試験	（JIS A 1215）
（様式44）	土の直接せん断試験	
（様式45）	ポータブルコーン貫入試験	（JGS 1431）
（様式46）	締固めた土のコーン指数試験	（JIS A 1228） （JGS 0716）
（様式47）	土の一軸圧縮試験（初期状態、軸圧縮過程）	（JIS A 1216） （JGS 0511）
（様式48）	土の一軸圧縮試験（強度・変形特性）	（JIS A 1216） （JGS 0511）
（様式49）	土の液性限界・塑性限界試験（測定）	（JIS A 1205） （JGS 0141）
（様式50）	土の液性限界・塑性限界試験（試験結果）	（JIS A 1205） （JGS 0141）
（様式51）	土粒子の密度試験（検定、測定）	（JIS A 1202） （JGS 0111）
（様式52）	土の粒度試験（ふるい分析）	（JIS A 1204） （JGS 0131）
（様式53）	土の粒度試験（2mmふるい通過分分析）	（JIS A 1204） （JGS 0131）
（様式54）	土の粒度試験（粒径加積曲線）	（JIS A 1204） （JGS 0131）
（様式55）	突固めによる土の締固め試験(測定)	（JIS A 1210） （JGS 0711）
（様式56）	突固めによる土の締固め試験(締固め特性)	（JIS A 1210） （JGS 0711）

（アスファルト関係）

(様式57)　アスファルト試験成績一覧表
(様式58)　アスファルトの粘度温度表
(様式59)　粗骨材試験成績一覧表（砕石）
(様式60)　細骨材試験成績一覧表（砂）
(様式61)　石粉及びスクリーニングス試験成績一覧表
(様式62)　骨材粒度曲線表（アスファルト）
(様式63)　合材粒度ふるい分け試験及び配合比決定例
(様式64)　骨材の推定変動範囲（細骨材及びスクリーニングス）
(様式65)　骨材配合率の密度補正
(様式66)　骨材配合率及び合成粒度（ 室内試験）
(様式67)　合成粒度曲線（ 室内試験）
(様式68)　試験配合表（ アスファルト量別）
(様式69)　アスファルト混合物の安定度試験（マーシャル式・理論最大密度）
(様式70)　アスファルト混合物の安定度試験(マーシャル式)
(様式71)　試験結果図表
(様式72)　マーシャル試験による基準アスファルト量
(様式73)　フィーダ、ホットビン、ミキサーの骨材の粒度試験
(様式74)　粗骨材のすりへり試験　(JIS A 1121)
(様式75)　アスファルトの抽出試験
(様式76)　路面の平坦性試験表（ 標準偏差）

（品質管理）

(様式77)　プルーフローリング試験
(様式78)　X － R 管理データシート
(様式79)　X － R 管理データシート
(様式80)　X － R 管理図
(様式81)　X-Rs-Rm 管理データシート
(様式82)　X － Rs － Rm 管理データシートの２
(様式83)　X － Rs － Rm管理図
(様式84)　工事アルバム
(様式85)　品質証明書
(様式86)　コンクリート週強度結果総括表
(様式87)　アスファルト混合物の敷き均し時の温度測定
(様式88)　塗装膜厚測定管理表
(様式89)　塗装厚測定成績表

（出来形管理関係）
（様式１）

平成　　年度

工　事　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

工　事　施　工　管　理　表

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

種　　目＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

請負会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式２）

測　定　結　果　総　括　表

工　種

種　別

測定項目															
規 格 値															
	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差
平 均 値															
最 大 値															
最 小 値															
最 多 値															
データ数															
標準偏差															

測定項目															
規 格 値															
	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差
平 均 値															
最 大 値															
最 小 値															
最 多 値															
データ数															
標準偏差															

測定項目															
規 格 値															
	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差	設 計 値	実 測 値	差
平 均 値															
最 大 値															
最 小 値															
最 多 値															
データ数															
標準偏差															

（様式３）

測定結果一覧表

工事名

工　種

種　別

測定者　　印

測定項目													略　　図
規 格 値													
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
測定項目													
規 格 値													
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	

（様式４）

出　来　形　管　理　図　表

工　種

種　別　　測定者　　印

測点																
設計値との差	0															
測定項目				測定項目				測定項目				測定項目				
規格値				規格値				規格値				規格値				
測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	
平均値																
最大値																
最小値																
最多値																
データ数																
標準偏差																

（様式５）

出来形管理図（工程能力図）

工　種

種　別　　測定者　　印

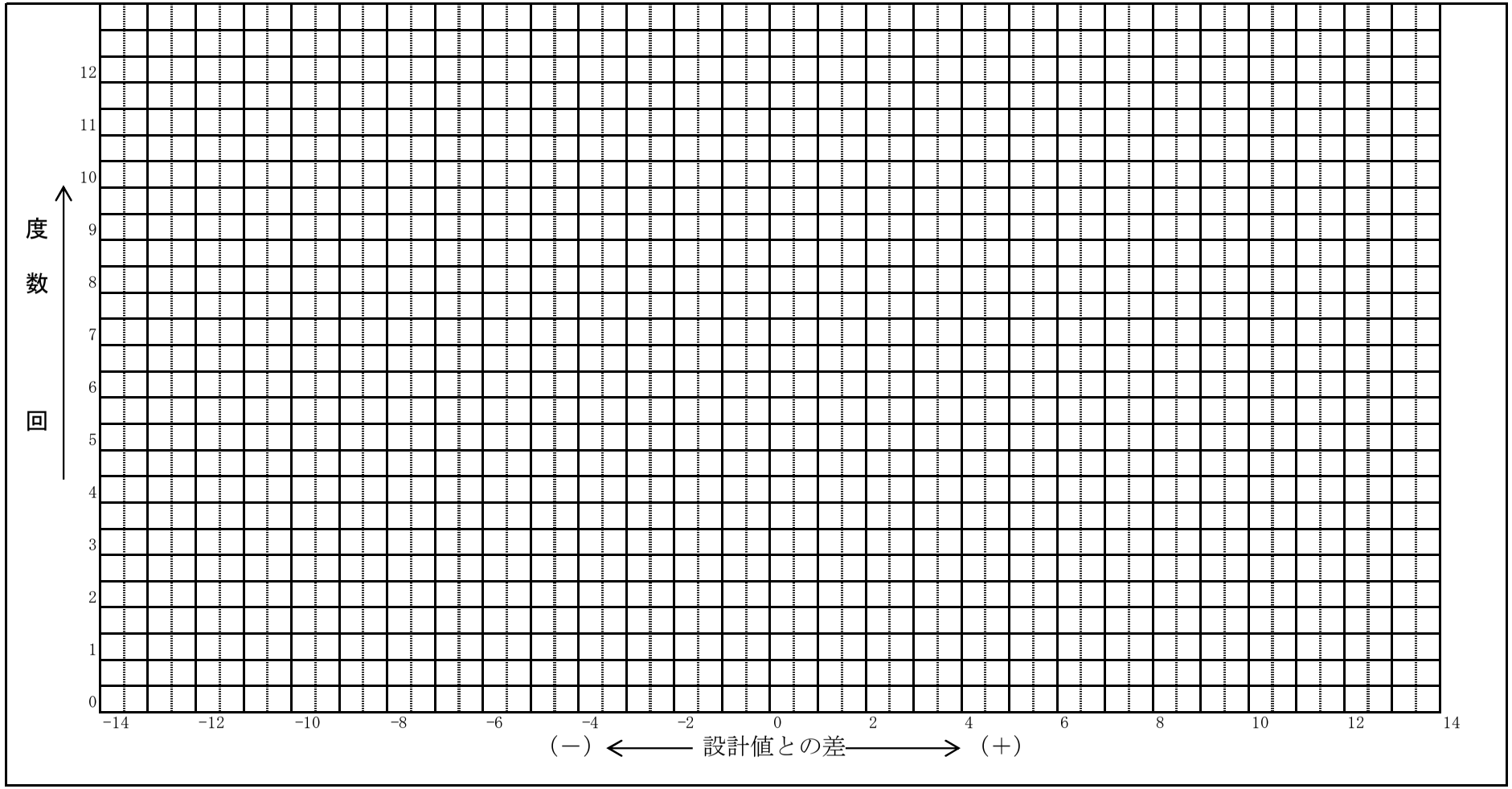
測定項目 規格値	測点	1	2
基準高 H	設計値との差 0		
法　長 L	設計値との差 0		
延　長 L	設計値との差 0		

（様式６）

度数表

基準高　H

測定者氏名　　印



（様式７）

鋼管溶接測定結果一覧表

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

測定位置	実測値				管理基準値	摘要
	X	Y	X′	Y′		

（様式８）

鋼管溶接、塗覆装点検表

工事名　　請負会社名

測定者　　印

測定位置	工種	項目	判定		摘要
			良	否	

（様式９）

管 水 路 ジ ョ イ ン ト 間 隔 測 定 結 果 一 覧 表

工 事 名　　　　　　　　　　　　　　　　請負会社名

工 種 名　　　　　　　　　　　　　　　　測　定　者　　　　印

工種名（呼び径）	測定年月日	測定位置（管番号）	測定値（接合時）					管理基準値	判定	備　考	測定年月日	測定値（埋戻後）				（参考）規格値	判定	備　考
			a	b	c	d	平均					a	b	c	d			

注）１．管理基準値は接合時の値であり、４箇所の平均とする。

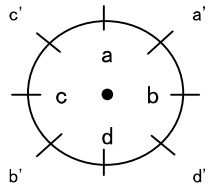
２．（参考）規格値は埋戻し後の値であり、原則として４箇所のうち１箇所でもこの値を超えてはならない。

３．測定は、呼び径700mm以下の場合は管の外から測定しても良い。
また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。

４．施工データが安定するまでの間は、上表の４箇所にこだわらず密に測定すること。

５．強化プラスチック複合管のD形の場合は、受口側と挿口側を各々測定すること。

測定箇所



＜記載例＞

測定位置	測定値 a	b	c	d	平均
NO.〇〇受	（受口側データ記載）				
〃　挿	（挿口側データ記載）				

（様式10）

埋設とう性管たわみ量管理表

工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　請負会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

管種(長さ)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　測定者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

測定位置（管番号）	管据付時				管頂埋戻し時				埋戻し完了時				D+t(mm)（内径）（管厚）
	Dυ mm	たわみ率 %	Dh mm	たわみ率 %	Dυ mm	たわみ率 %	Dh mm	たわみ率 %	Dυ mm	たわみ率 %	Dh mm	たわみ率 %	

たわみ率の計算

$$\frac{\Delta X}{2R} \times 100(\%)$$

$\Delta X = [2R-(D\upsilon+t)]$又は$[2R-(Dh+t)]$

2R：管厚中心直径

t：管厚

注）1．マーキング位置における測定値を記入する。

2．測定については「土木工事施工管理基準」別表第1 直接測定による出来形管理　管水路工事　管水路（埋設とう性管）の測定基準による。

3．矢板引抜き時の測定は、「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。

（様式11）

鉄 筋 組 立 検 査 結 果 一 覧 表

工 事 名 ：　　請負会社名 ：

工 種 名 ：

番号	測定年月日	径(mm)及び本数(本)		中 心 間 隔 (mm)				かぶり(mm)			組立状況(継手長、曲げ状況、結束等)	備　考
		設計値	判定	設計値	検査値	設計値との差	判定	設計値	検査値	判定	判　　定	

測定箇所 ：（設計上の位置及び名称）

測　定　者　　印

記入事項

1．かぶりの許容誤差は±φかつ最小かぶり以上とする。

2．鉄筋間隔の許容誤差は±φとする。

3．判定欄は合格、不合格を記入する。

(様式12)

杭打ち成績表

工 事 名 :　　請負会社名 :

工 種 名 :　　測 定 者　　印

杭打込み 月　　日	杭番号	杭規格	測 定 時 杭深度(m)	ハンマー 落下高(cm)	打込回数	リバウンド (cm)	平均沈下 量(cm)	支持力(kN)	摘要

杭配置図

適用公式名:

設計支持力:

（コンクリート関係）

（様式13）

セ メ ン ト の 密 度 試 験

（JIS R 5201）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室 温（ ℃ ）	湿 度（ % ）	水 温（ ℃ ）
試 料			

測 定 番 号	1	2	3	4
① フラスコの番号				
② 初めの鉱油の読み（mℓ				
③ 試 料 の 質 量 （g）				
④ 試料と鉱油の読み（mℓ				
⑤ 密 度 $\frac{③}{④ - ②}$				
⑥ 許 容 差				
⑦ 平 均 値				

考 察

（様式14）

セメント粉末度試験（比表面積試験）
（JIS R 5201）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）		
試料				
①セルと水銀との質量（g）				
②セルの質量（g）				
③水銀の質量　①－②（g）				
④（セル）＋（セメント）＋（水銀）の質量（g）				
⑤（セル）＋（セメント）の質量（g）				
⑥水銀の質量　④－⑤（g）				
⑦水銀の密度（g/cm³）				
⑧ベットの体積 $\frac{③－⑥}{⑦}$（cm³）				
⑨平均値				
測定番号	1	2	3	4
試料の質量（g）				
標準試料降下時間 t_0（s）				
標準試料比表面積（cm²/g）				
セメント降下時間 t（s）				
セメント比表面積（cm²/g）				
許容差				
平均値				

考察

(様式15)

セメント粉末度試験（網ふるい試験）
（JIS R 5201）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試　験　日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室　温（ ℃ ）	湿　度（ % ）	
試　　料			

測　定　番　号	1	2	3	4
① 試　料　の　質　量　(g)				
② 残　留　質　量　(g)				
③ 粉　末　度 $\frac{②}{①}\times 100$　(%)				
④ 平　均　値　(%)				

考　察

（様式16）

セメントの凝結試験

（JIS R 5201）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室内の温度（　℃　）	室内の湿度（　%　）	水温（℃）
	湿気箱内の温度（　℃　）	湿気箱内の湿度（　%　）	
試料			

測定番号	1	2	3	4
試料の質量（g）				
水の量（mℓ）				
注水時刻（h･min）				
始発時刻（h･min）				
始発時間（min）				
終結時刻（h･min）				
終結時間（h）				

考察

（様式17）

セメントの安定性試験

（JIS R 5201）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
養生温度(℃)			
試料			

測定番号	1	2	3	4
試料の質量（g）				
水の量（mℓ）				
ひび割れ・反りの有無				

試験結果

考察

（様式18）

セメントの強さ試験

（JIS R 5201）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日			平成　年　月　日	平成　年　月　日	平成　年　月　日	平成　年　月　日
試験日の状態	室温（℃）					
	湿度（%）					
養生温度（℃）						
材齢（日）						
供試体質量（g）（脱型直後）		1				
		2				
		3				
供試体質量（g）（強さ試験直前）		1				
		2				
		3				
曲げ試験	最大荷重（N）	1				
		2				
		3				
	曲げ強さ（N/mm²）	1				
		2				
		3				
	平均値（N/mm²）					
圧縮試験	最大荷重（N）	1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
	圧縮強さ（N/mm²）	1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
	平均値（N/mm²）					
供試体作製日：平成　年　月　日						

（様式19）

細骨材の密度および吸水率試験

（JIS A 1109）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候			
試験日の状態	室 温（ ℃ ）	湿 度（ % ）	水 温（ ℃ ）	乾燥温度（ ℃ ）
試 料				

測 定 番 号	1	2	3	4
① ピクノメーターの番号				
② 500mℓの目盛りまで水を満たしたピクノメータの質量 m_1 (g)				
③ 試料の質量 m_2 (g)				
④ 試料と水で500mℓの目盛りまで満たしたピクノメーターの質量 m_3 (g)				
⑤ 密度 $\frac{③\times\rho_w}{②+③-④}$ (g/cm³)				
⑥ 平均値				
⑦ 平均値との差				
⑧ 試料の質量 m_4 (g)				
⑨ 試料の乾燥質量 m_5 (g)				
⑩ 吸水率 $\frac{⑧-⑨}{⑨}\times100$ (%)				
⑪ 平均値 (%)				
⑫ 平均値との差 (%)				

考 察

試験温度における水の密度 $\rho w=$　　g/cm³

（様式20）

粗骨材の密度および吸水率試験

（JIS A 1110）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候			
試験日の状態	室 温（ ℃ ）	湿 度（ % ）	水 温（ ℃ ）	乾燥温度（ ℃ ）
試 料				

測 定 番 号	1	2	3	4
① 試 料 の 質 量 m_1 (g)				
② 水中のかごと試料の見掛けの質量 m_2 (g)				
③ 水中のかごの見掛けの質量 m_3 (g)				
④ 水中の試料の見掛けの質量 (m_2-m_3) (g)				
⑤ 密 度 $\frac{①\times\rho_w}{①-④}$ (g/cm³)				
⑥ 平 均 値				
⑦ 平 均 値 と の 差				
⑧ 乾燥後の試料の質量 m_4 (g)				
⑨ 吸 水 率 $\frac{①-⑧}{⑧}\times100$ (%)				
⑩ 平 均 値 (%)				
⑪ 平 均 値 と の 差 (%)				

考 察

試験温度における水の密度 $\rho w=$　　g/cm³

（様式21）

細骨材の表面水率試験

（JIS A 1111）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
試料	d_s：試料の表面乾燥密度＝　　g/cm³		

測定番号	1	2	3	4
① 試料の質量　m_1　(g)				
② （フラスコ）＋（マークまでの水）の質量　m_2　(g)				
③ （フラスコ）＋（マークまでの水）＋（試料）の質量　m_3　(g)				
④ m＝①＋②－③　(g)				
⑤ $ms = \frac{①}{d_s}$				
⑥ 表面水率　$H = \frac{④-⑤}{①-④} \times 100$　(%)				
⑦ 平均値　(%)				
⑧ 平均値との差　(%)				
⑨ 試料を覆う水量　V_1（mℓ				
⑩（試料）＋（水）の容積　V_2（mℓ				
⑪ V＝⑩－⑨　(g)				
⑫ 表面水率＝　$H = \frac{⑪-⑤}{①-⑪} \times 100$　(%)				
⑬ 平均値　(%)				
⑭ 平均値との差　(%)				

考察

（様式22）

骨材のふるい分け試験（細骨材）

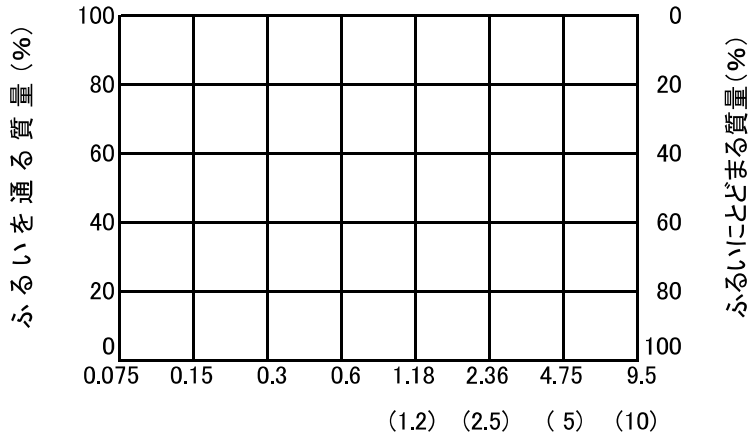
（JIS A 1102）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候	
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）
試料		

ふるいの呼び寸法（㎜）	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	（g）	（％）	（g）	（％）	（％）
9.5（10）					
4.75（5）					
2.36（2.5）					
1.18（1.2）					
0.6					
0.3					
0.15					
0.075					
受皿					
計					
粗粒率					



ふるいの呼び寸法（㎜）、※（　）は従来の呼び寸法

ふるい分け曲線

考　察

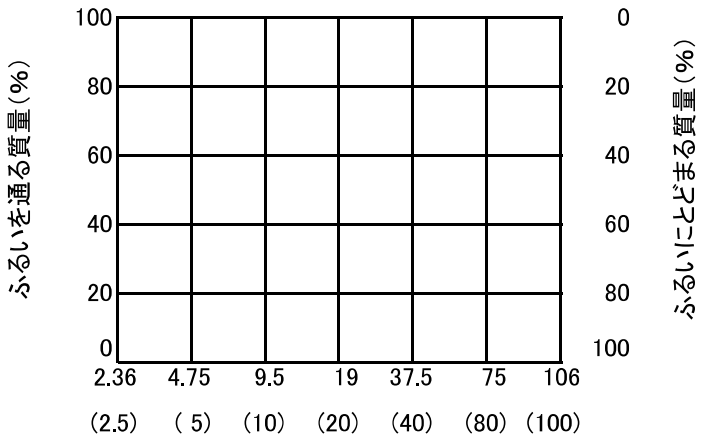
（様式23）

骨材のふるい分け試験（粗骨材）
（JIS A 1102）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試　験　日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候				
試験日の状態	室　温（ ℃ ）		湿　度（ % ）		
試　　料					
ふるいの呼び寸法（mm）	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	（g）	（%）	（g）	（%）	（%）
最 大 寸 法 （mm）			粗　粒　率		



ふるいの呼び寸法（mm）、※（）は従来の呼び寸法

ふるい分け曲線

考　察

(様式24)

骨 材 試 験 成 績 一 覧 表

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試料採取地名										
試験日										
ふるい分け	粗骨材	150㎜以上通過質量百分率 %								
		150 ～ 100 〃								
		100 ～ 80 〃								
		80 ～ 60 〃								
		60 ～ 50 〃								
		50 ～ 40 〃								
		40 ～ 30 〃								
		30 ～ 25 〃								
		25 ～ 20 〃								
		20 ～ 15 〃								
		15 ～ 10 〃								
		10 ～ 5 〃								
		5以下 〃								
		粗粒率								
	細骨材	5㎜以上通過質量百分率 %								
		5 ～ 2.5 〃								
		2.5 ～ 1.2 〃								
		1.2 ～ 0.6 〃								
		0.6 ～ 0.3 〃								
		0.3 ～ 0.15 〃								
		0.15以下 〃								
		粗粒率								
細骨材	密度									
	単位容積質量（標準） kg/m³									
	単位容積質量（軽装） kg/m³									
	安定性 %									
	吸水量 %									
	洗い試験 %									
粗骨材	密度									
	単位容積質量（標準） kg/m³									
	単位容積質量（軽装） kg/m³									
	安定性 %									
	吸水量 %									
	すりへり減量 %									
	洗い試験 %									
	軟石量試験 %									
	細長扁平試験 %									
備考										

（様式25）

コンクリートのスランプ試験およびフレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験（空気室圧力方式）

（JIS A 1101、JIS A 1128）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室 温（ ℃ ）	湿 度（ % ）	水 温（ ℃ ）
試料			

示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量(kg/m³) 水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)

測定番号	1	2	3
① スランプ (cm)			
② 突き棒でコンクリートの側面をたたいたときの状態			
③ 見掛けの空気量 (%)			
④ 骨材修正係数 (%)			
⑤ 空気量 ③－④ (%)			
⑥ コンクリートの温度 (℃)			

考 察

（様式26）

コンクリートの圧縮強度試験

（JIS A 1108）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
試料			

示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m³) 水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)

材齢（日）				
養生方法			養生温度（℃）	
供試体番号	1	2	3	4
平均直径 (mm)				
断面積 (mm²)				
平均高さ (mm)				
スランプ (cm)				
質量 (kg)				
最大荷重 (N)				
圧縮強度 (N/mm²)				
平均圧縮強度 (N/mm²)				
見掛け密度 (kg/m³)				
平均見掛け密度 (kg/m³)				
供試体の破壊状況のスケッチ				

考察

（様式27）

コンクリートの曲げ強度試験

（JIS A 1106）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候											
試験日の状態	室温（℃）		湿度（％）		水温（℃）							
試料												
示方配合	粗骨材の最大寸法（mm）	スランプ（cm）	水セメント比 W/C（%）	空気量（%）	細骨材率 s/a（%）	単位量（kg/m³）						
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤（g/m³）
材齢（日）												
養生方法						養生温度（℃）						
供試体番号	1		2			3			4			
平均幅（mm）												
平均高さ（mm）												
スパン（mm）												
最大荷重（N）												
曲げ強度（N/mm²）												
平均曲げ強度（N/mm²）												
破壊断面とこれに近い支点との距離（mm）												
供試体の破壊状況のスケッチ												

考察

（様式28）

フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験

（JIS A 5308、JIS A 1144）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日						天候						
試料	採取方法												
	保管方法												
示方配合	粗骨材の最大寸法（mm）	スランプの範囲（cm）	空気量の範囲（%）	水セメント比（%）	細骨材率（%）	単位容積質量（kg/m³）							
						水	セメント	細骨材	粗骨材		混和材料		
									～　mm mm	～　mm mm			
測定内容	分析方法												
	測定器名及び指示薬												
測定回数	1		2		3	平均							
塩化物イオン濃度（%）													
塩化物量（kg/m³）						判定基準			測定場所				
						＿＿＿＿＿以下			現場		工場		

（様式29）

コンクリート中の塩分測定表

工 事 名

請負者名

測定者氏名			
立会者氏名			
測定年月日		時刻	
工　　種			
コンクリートの 種 類			
コンクリートの製造会社名			
混和剤の種類		m^3当り使用量	
セメントの種類			
単 位 水 量	kg/m^3		
測 定 器 名			

測定番号	測定値（%）又は空欄	塩分量（kg/m^3）
1		
2		
3		
平均値		

（様式30）

骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）

（JIS A 5308、JIS A 1145）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日																				
骨材の種類	骨材の産地	繰返し	試料量 (g)	反応時間 (hf)	アルカリ濃度減少量(Rc) (mmol/ℓ)					溶解シリカ量（Sc）(mmol/ℓ)										有害度の判定
										吸光光度法				質量法			原子吸光光度法				
					V_1 (mℓ)	V_2 (mℓ)	V_3 (mℓ)	Rc	平均値	V (mℓ)	C (mg/ℓ)	Sc	平均値	W (g)	Sc	平均値	C (mg/ℓ)	Sc	平均値		
		1																			
		2																			
		3																			
		1																			
		2																			
		3																			
		1																			
		2																			
		3																			
備考																					

（様式31）

骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）

（JIS A 5308、JIS A 1146）

工事名　　請負会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候			
試験日の状態	気温（℃）	室温（℃）	容器内温度（℃）	容器内湿度（％）
セメント	種別　　全アルカリ			
骨材	産地　　種別			

区分 ＼ 材齢		脱型時	2週間	4週間	8週間	3ヶ月	6ヶ月
① 基長L（有効ゲージ長）（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
② 供試体脱型時のダイヤルゲージの読み Xini（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
③ 同時測定した標準尺のダイヤルゲージの読み sXini（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
④ 材齢iにおける供試体のダイヤルゲージの読み Xi（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
⑤ 材齢iにおける標準尺のダイヤルゲージの読み sXi（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
⑥ 膨張率（％） $\frac{(④-⑤)-(②-③)}{L}\times 100$	1						
	2						
	3						
	平均						
判定							
精度							

考察

（様式32）

鉄　筋　の　曲　げ　試　験

（JIS G 3112、JIS Z 2248）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測　定　者　　印

試　験　日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候			
試験日の状態	気　温（ ℃ ）		室　温（ ℃ ）	
試　　料				
試　料　番　号				
呼　び　径（mm）				
実　測　径（mm）				
種　　別				
記　　号				
曲　げ　角　度（度）				
内　側　半　径（mm）				
判　　定				

考　察

（様式33）

鉄 筋 の 引 張 試 験

（JIS G 3112、JIS Z 2241）

工 事 名　　請負会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候									
試験日の状態	気温（℃）				室温（℃）					
試料										
試料番号										
呼び径（mm）										
実測径（mm）	最大径									
	最小径									
	平均									
断面積（mm²）										
種別										
記号										
標点距離（mm）										
降伏点荷重（N）										
降伏点（N/mm²）										
引張荷重（N）										
引張強さ（N/mm²）										
伸び	（mm）									
	（%）									
切断位置による記号										
試験片										
判定										

考 察

（土質関係）

（様式34）

土　の　含　水　比　試　験

（JIS A 1203、JGS0121）

工　事　名	試験日　　平成　　年　　月　　日	請負会社名
工　種　名	試料採取地点	測　定　者　　印

試料番号(深さ)						
容器　NO.						
m_a　g						
m_b　g						
m_c　g						
w　%						
平均値 w　%						
特　記　事　項						
試料番号(深さ)						
容器　NO.						
m_a　g						
m_b　g						
m_c　g						
w　%						
平均値 w　%						
特　記　事　項						
試料番号(深さ)						
容器　NO.						
m_a　g						
m_b　g						
m_c　g						
w　%						
平均値 w　%						
特　記　事　項						
試料番号(深さ)						
容器　NO.						
m_a　g						
m_b　g						
m_c　g						
w　%						
平均値 w　%						
特　記　事　項						
試料番号(深さ)						
容器　NO.						
m_a　g						
m_b　g						
m_c　g						
w　%						
平均値 w　%						
特　記　事　項						

$$w=\frac{m_a-m_b}{m_b-m_c}\times 100$$

m_a　：　（試料＋容器）質量

m_b　：　（炉乾燥試料＋容器）質量

m_c　：　容器質量

（社）地盤工学会規格準用

(様式35)

砂置換法による土の密度試験（較正）

（JIS A 1214）

工事名　　請負会社名　　試験日　平成　年　月　日

工種名　　測定者　　印

Ⅰ．ジャーとピクノメータートップとの体積の較正

測定NO.		1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに水を満たした質量	m_2 g					
測定器の質量	m_1 g					
満たした水の質量	m_2-m_1 g					
測定器中の水の温度	t ℃					
t℃における水1g当たりの体積	K cm³/g					
ジャーとピクノメータートップとの体積	$V_1=K(m_2-m_1)$ cm³					
平均値	V_1 cm³					

Ⅱ．試験用砂の乾燥密度の較正

測定NO.		1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした質量	m_3 g					
測定器の質量	m_1 g					
測定器中の砂の質量	$m_4=m_3-m_1$ g					
試験用砂の乾燥密度	$\rho_{ds}=m_4/V_1$ g/cm³					
平均値	ρ_{ds} g/cm³					

Ⅲ．漏斗を満たすのに必要な砂の質量の較正

測定NO.		1	2	3	4	5
測定器と入れた砂の質量	m_3' g					
漏斗を満たした砂を除き測定器と残った砂の質量	m_5 g					
漏斗を満たすのに必要な砂の質量	$m_6=m_3'-m_5$ g					
平均値	m_6 g					

特記事項

（様式36）

砂置換法による土の密度試験（測定）

（JIS A 1214）

工事名　　請負会社名　　試験日　平成　年　月　日

工種名　　測定者　　印

測定器 NO.			土質名称		
試験用砂の乾燥密度	ρ_{ds}	g/cm³	漏斗を満たすのに必要な砂の質量m_6g		
試験孔 NO.					
最大粒径		mm			
容器 NO.					
容器質量		g			
（試験孔から取り出した土＋容器）質量		g			
試験孔から取り出した湿潤土の質量	m_7	g			
試験孔から取り出した土の炉乾燥質量	$m_0=100m_7/(w+100)$	g			
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした質量	m_3	g			
測定器と残った砂の質量	m_8	g			
試験孔および漏斗に入った砂の質量	$m_9=m_3-m_8$	g			
試験孔を満たすのに要する砂の質量	$m_{10}=m_9-m_6$	g			
試験孔の体積	$Vo=m_{10}/\rho_{ds}$	cm³			
湿潤密度	$\rho_t=m_7/Vo$	g/cm³			
乾燥密度	$\rho_d=m_0/Vo$	g/cm³			
含水比	容器 NO.				
	（試料＋容器）質量	m_a g			
	（炉乾燥試料＋容器）質量	m_b g			
	容器質量	m_c g			
	w	%			
	容器 NO.				
	（試料＋容器）質量	m_a g			
	（炉乾燥試料＋容器）質量	m_b g			
	容器質量	m_c g			
	w	%			
	平均値 w	%			
平均値	含水比 w	%			
	湿潤密度	ρ_t g/cm³			
	乾燥密度	ρ_d g/cm³			

特記事項

$$w=\frac{m_a-m_b}{m_b-m_c}\times 100$$

（社）地盤工学会規格準用

（様式37）

土の収縮定数試験

（JIS A 1209、JGS 0145）

工事名　　請負会社名　　試験日　平成　年　月　日

工種名　　測定者　　印

試料番号（深さ）								
測定NO.								
収縮皿NO.								
湿潤試料の体積	ガラス板の質量	m_g	g					
	収縮皿の質量	m_c	g					
	水の入った収縮皿とガラス板の質量	m	g					
	水温	T	℃					
	水の密度	ρ_w	g/cm³					
	湿潤試料の体積	V	cm³					
炉乾燥試料の体積	パラフィン塗布後の試料の質量	m_1	g					
	水中における吊り皿の見掛けの質量	m_2	g					
	水中における試料および吊り皿の見掛け質量	m_3	g					
	炉乾燥試料の質量	m_s	g					
	パラフィンの密度	ρ_p	g/cm³					
	炉乾燥試料の体積	Vo	cm³					
含水比	湿潤試料と収縮皿の質量	m_a	g					
	湿潤試料の含水比	w	%					
	平均値	w	%					
収縮限界	収縮限界	w_s	%					
	平均値	w_s	%					
収縮比	収縮比	R						
	平均値	R						
ある含水比		w_1	%					
体積収縮率		C	%					
線収縮		L_s	%					

特記事項

$$V = \frac{(m - m_c - m_g)}{\rho_w}$$

$$Vo = \frac{(m_1 - m_3 + m_2)}{\rho_w} - \frac{(m_1 - m_s)}{\rho_p}$$

$$w_s = w - \frac{(V - Vo)\rho_w}{m_s} \times 100$$

$$w = \frac{(m_a - m_c - m_s)}{m_s} \times 100$$

$$R = \frac{m_s}{Vo \cdot \rho_w}$$

$$L_s = \left(1 - \sqrt[3]{\frac{100}{c+100}}\right) \times 100$$

$$C = (w_1 - w_s)R$$

（社）地盤工学会規格準用

(様式38)

ＣＢＲ試験（初期状態、吸水膨張試験）

（JIS A 1211、JGS 0721）

工事名		試験日　平成　年　月　日			請負会社名		
試料採取地点		採取日　平成　年　月　日			測定者　　印		
試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量 kg			土質名称		
突き固め方法		落下高さ cm			自然含水比 w_n %		
試料準備 準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数 回/層			最適含水比 w_{opt} %		
空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層			最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm³		
試料調整後含水比 w_o %		モールド 内径 cm			荷重板質量 kg		
		高さ[1] cm			モールド容量 V cm³		

供試体 NO.							
含水比	容器 NO.						
	（試料＋容器）質量 m_a g						
	（炉乾燥試料＋容器）質量 m_b g						
	容器質量 m_c g						
	含水比 w_1 %						
	平均値 w_1 %						
密度	（試料＋モールド）質量 m_2[2] g						
	モールド質量 m_1[2] g						
	湿潤密度 ρ_t g/cm³						
	乾燥密度 ρ_d g/cm³						
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量mm	変位計の読み	膨張量mm	変位計の読み	膨張量mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
	（試料＋モールド）質量 m_3[2] g						
	膨張比 γ_e %						
	湿潤密度 ρ_t' g/cm³						
	乾燥密度 ρ_d' g/cm³						
	平均含水比 w' %						

特記事項

1）スペーサーディスクの高さを差引く

2）モールドの質量は有孔底板を含む

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho_t' = \frac{m_3 - m_1}{v(1+\gamma_e/100)} \qquad \rho_t = \frac{m_2 - m_1}{V}$$

$$\rho_d' = \frac{\rho_d}{1+\gamma_e/100} \qquad \rho_d = \frac{\rho_t}{1+w_1/100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho_t'}{\rho_d'} - 1\right) \times 100 \qquad w_1 = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

（社）地盤工学会規格準用

（様式39）

ＣＢＲ試験（貫入試験）

（JIS A 1211、JGS 0721）

工事名		試験日　平成　年　月　日		請負会社名	
試料採取地点		採取日　平成　年　月　日		測定者　　印	
試験条件	水浸、非水浸	貫入速さ　mm/min		荷重板質量　kg	
養生条件	日空気中	荷重計　NO.		貫入ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙの断面積 ㎠	
	日水浸	容量　kN		較正係数 MN/㎡/目盛 kN/目盛	
供試体 NO.		供試体 NO.		供試体 NO.	
貫入量 mm	荷重強さ、荷重	貫入量 mm	荷重強さ、荷重	貫入量 mm	荷重強さ、荷重

読み 1	読み 2	平均	荷重計の読み	MN/㎡ kN	読み 1	読み 2	平均	荷重計の読み	MN/㎡ kN	読み 1	読み 2	平均	荷重計の読み	MN/㎡ kN
0					0					0				
0.5					0.5					0.5				
1.0					1.0					1.0				
1.5					1.5					1.5				
2.0					2.0					2.0				
2.5					2.5					2.5				
3.0					3.0					3.0				
4.0					4.0					4.0				
5.0					5.0					5.0				
7.5					7.5					7.5				
10.0					10.0					10.0				
12.5					12.5					12.5				

貫入試験後の含水比				貫入試験後の含水比				貫入試験後の含水比			
	容器NO.				容器NO.				容器NO.		
	m_a g				m_a g				m_a g		
	m_b g				m_b g				m_b g		
	m_c g				m_c g				m_c g		
	w_2 %				w_2 %				w_2 %		
	平均値 w_2 %				平均値 w_2 %				平均値 w_2 %		

特記事項

$$w_2=\frac{m_a-m_b}{m_b-m_c}\times 100$$

m_a :（試料＋容器）質量

m_b :（炉乾燥試料＋容器）質量

m_c :容器質量

[1MN/㎡≒10.2kgf/㎠]
[1kN≒102kgf]

（社）地盤工学会規格準用

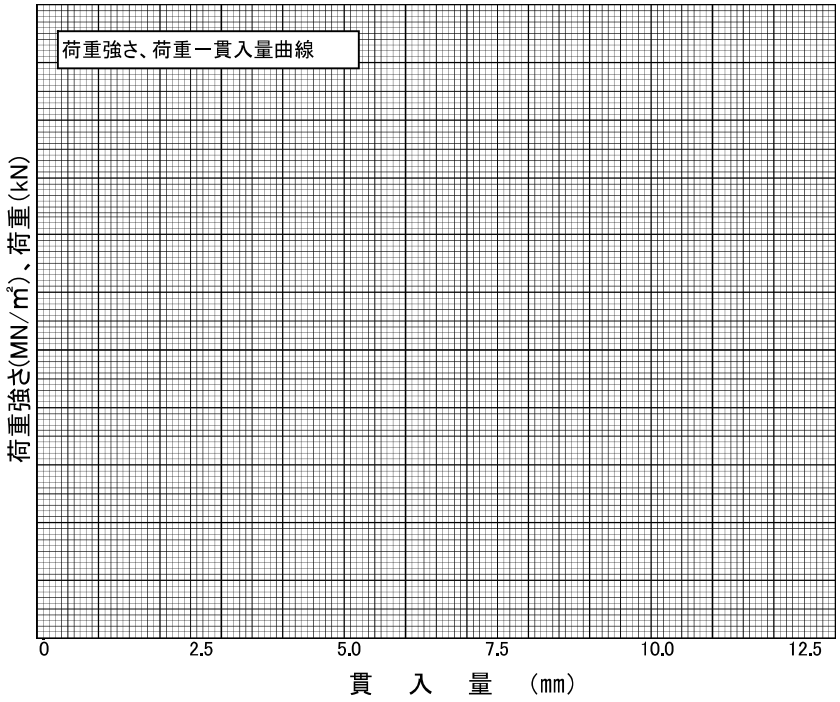
（様式40）

ＣＢＲ試験（室内試験結果）

（JIS A 1211、JGS 0721）

工事名		試験日　平成　年　月　日		請負会社名	
試料採取地点		採取日　平成　年　月　日		測定者　　印	
試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量　kg		土質名称	
突固め方法		落下高さ　cm		空気乾燥前含水比　%	
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数　回/層		自然含水比 w　%	
試験条件	水浸、非水浸	突固め層数　層		最適含水比 w_{opt}　%	
養生条件	日空気中	モールド	内径　cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}　g/cm³	
	日水浸		高さ[1]　cm		

供試体 NO.					
吸水膨張試験	前	含水比 w　%			
		乾燥密度 ρ_d　g/cm³			
	後	膨張比 γ_e　%			
		平均含水比 w'　%			
		乾燥密度 ρ'_d　g/cm³			
貫入試験	試験後の含水比 w_2　%				
	貫入量2.5mmにおけるCBR　%				
	貫入量5.0mmにおけるCBR　%				
	ＣＢＲ　%				



平均CBR　%

特記事項

1）スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m²≒10.2kgf/cm²]
[1kN≒102kgf]

貫入量mm		2.5	5.0
荷重強さ	供試体 NO.		
	供試体 NO.		
	供試体 NO.		
標準荷重強さ MN/m²		6.9	10.3
標準荷重 kN		13.4	19.9

（社）地盤工学会規格準用

（様式41）

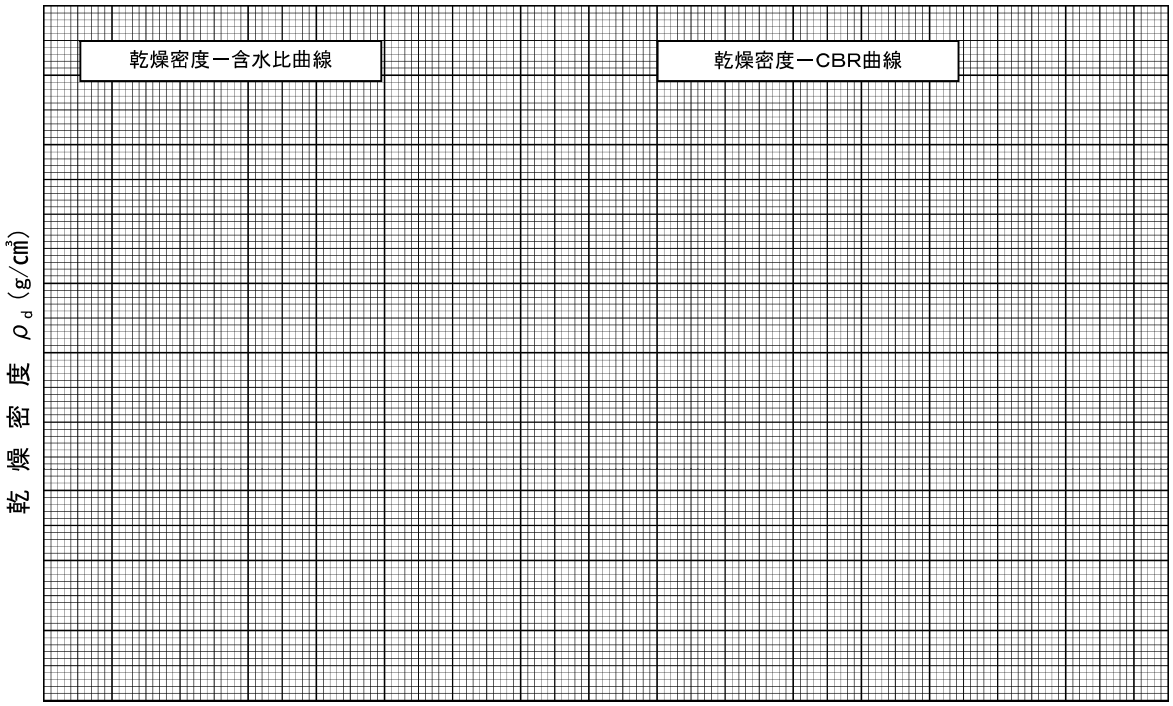
修　正　C　B　R　試　験

工 事 名　　試験日　平成　年　月　日　　請負会社名

試料採取地点　　採取日　平成　年　月　日　　測　定　者　　印

突固め回数　回/層			（　層）			（　層）			（　層）
供試体　ＮＯ．									
乾燥密度 ρ_d g/cm³									
平均値 ρ_d g/cm³									
貫入量2.5mmにおけるCBR　%									
平均値　%									
貫入量5.0mmにおけるCBR　%									
平均値　%									

ランマー質量　kg		最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm³		締固め度　%			
		最適含水比 w_{opt}　%		修正CBR　%			



含水比　w(%)　　C B R (%)

特記事項

（社）地盤工学会規格準用